

社会保障研究所日誌（昭和59.4～昭和60.3）

昭和59.4.1 研究部長に都村敦子（主任研究員）を発令

4.10 研究課題Ⅲ 高齢者世帯の生活構造の変化と社会保障の研究会（第1回）会議の内容「これからの研究のすすめ方について（全体討議）」

4.17 定例役員会（第200回）開催

4.24 研究課題Ⅰ 医療システムの有効性と効率性に関する研究会（第1回）報告内容と報告者「国民経済と医療財政」経済企画庁調査局内国調査第一課専門調査員：妹尾芳彦

4.26 研究課題Ⅱ 社会保障発展パターンの国際比較の研究会（第1回）会議の内容「研究のすすめ方について（討論）」

5. 8 定例役員会（第201回）開催

5.15 課題Ⅲ研究会（第2回）報告内容と報告者「戦後家計調査の流れからみた掛川調査の位置について」東京都立大学講師：岩田正美

5.17 政策研究会（第1回）報告内容と報告者「身体障害者福祉法の改正について」厚生省社会局更生課課長補佐：塩田幸雄

5.21 課題Ⅱ研究会（第2回）報告内容と報告者「国際比較研究の研究動向」法政大学大学院：下平好博

5.22 課題Ⅲ研究会（第3回）会議内容「調査票の検討」

5.24 課題Ⅰ研究会（第2回）報告内容と報告者「医療経済基礎統計について——診療所の経営分析——」帝京大学教授：江見康一

6. 1 参与 伊部英男再任

6. 5 社会保障の基本問題研究会所内会議
同 課題Ⅲ研究会（第4回）会議の内容「調査票の最終検討」

6.12 定例役員会（第202回）開催

6.14 研究課題Ⅳ 社会保障費の推計に関する総合的研究の所内会議

同 課題Ⅱ研究会（第3回）報告内容と報告者「社会保障費の国際比較」参与：馬場啓之助

6.15 課題Ⅲ研究会（第5回）報告内容と報告者「ラ

イフ・コースからみた掛川調査」東京都立大学助教授：石原邦雄

7. 1 新事務所へ移転

7. 9 定例役員会（第203回）および参与会開催（於狗不理）

7.10 課題Ⅴ研究会所内会議

7.16 新事務所の披露会（於研究所）

7.17 課題Ⅴ研究会所内会議

7.24 第23回公開研究報告会開催 テーマ「医療サービスの有効性と効率性」レポートⅠ マクロ経済と医療費：妹尾芳彦（経済企画庁調査局内国調査第一課主査）レポートⅡ 医療費の地域分析：藤井良治（千葉大学助教授）レポートⅢ 1970年代における医療費の国際比較：城戸喜子（社会保障研究所主任研究員）

司会 江見康一（帝京大学教授）

8.27 総務部長伊原正躬の辞職を発令

8.28 総務部長に辻 宏二（厚生省大臣官房人事課課長補佐）を発令

9. 1 調査部長に堀 勝洋（厚生省大臣官房政策課課長補佐）を発令

9.11 定例役員会（第204回）開催

9.20 政策研究会（第2回）報告内容と報告者「雇用保険法の改正について」労働省職業安定局雇用保険課労働事務官：大橋敏夫

9.27 課題Ⅰ研究会（第3回）報告内容と報告者「老人医療の経済分析」千葉大学教授：地主重美
同 課題Ⅳ研究会（第1回）報告内容と報告者「昭和57年度社会保障給付費の調査項目について」

10. 9 定例役員会（第205回）開催

10.11 課題Ⅰ研究会（第4回）報告内容と報告者「医療供給体制の諸問題」生存科学研究所理事：中山昌作

10.18 課題Ⅳ研究会（第2回）報告内容と報告者「社会保障関係総費用の考え方について」総理府社会保障制度審議会事務局調査第一課：梶原泰之，同第二課：青野修一

10.23～26 社会保障研究所基礎講座（第20回）開催（こまばエミナース）

10.27 課題Ⅲ研究会（第6回）報告内容と報告者「“昭和59年・高齢者生活総合調査”（静岡県掛川市）について」日赤武蔵野女子短期大学講師：高橋博子

- 10.29 課題Ⅱ研究会(第4回) 報告内容と報告者「発展途上国の社会保障の動向」岐阜経済大学教授: 平石長久
- 10.30 課題Ⅰ研究会(第4回) 報告内容と報告者「DRGの実施と病院産業の対応」国立公衆衛生院衛生行政学部衛生行政室長: 日野秀逸
11. 8 政策研究会(第3回) 報告内容と報告者「退職者医療制度について」厚生省保険局国民健康保険課課長補佐: 伍藤忠春
- 11.15 課題Ⅰ研究会(第5回) 報告内容と報告者「医療と福祉」白十字ホーム園長・全国老人福祉問題研究会会長: 中川晶輝
- 11.22 課題Ⅰ研究会(第6回) 報告内容と報告者「スウェーデンにおける医療供給体制」厚生省保険局医療課課長補佐: 中村秀一
- 11.27 課題Ⅲ研究会(第7回) 報告内容と報告者「“高齢者生活総合調査”の単純集計結果について」研究員: 三上英美子
- 同 社会保障基本問題研究会(第8回) 主題『福祉政策論の諸問題』報告内容と報告者「社会政策概念の転換——労働経済から社会政策へ——」武川正吾(研究員), 「社会福祉への社会学的接近——“社会福祉の社会学”の対象と方法に関する一試論」平岡公一(研究員), 「産業化と福祉国家——先進国における収斂理論の妥当性をめぐって——」下平好博(研究員)
12. 4 定例合同役員会(第206回) 開催
12. 6 課題Ⅳ研究会(第3回) 報告内容と報告者「国民医療費の推計について」厚生省大臣官房統計情報部管理課: 井上美智子
- 昭和60. 1.11 所長 福武 直, 理事 小山路男, 監事 安川正彬再任
- 1.22 課題Ⅲ研究会(第8回) 報告内容と報告者「昭和59年高齢者生活総合調査」における世帯概況」研究員: 宇野正道
- 同 定例役員会(第207回), 合同委員会開催
- 1.24 政策研究会(第4回) 報告内容と報告者「男女雇用機会均等法(案)について」明治大学教授: 田辺照子
- 同 課題Ⅰ研究会(第7回) 報告内容と報告者「市町村におけるヘルス事業」心身障害者福祉協会理事: 三井速雄, 「高齢者の医療と福祉に関する新しい施設体系のあり方」調査部長: 堀 勝洋
- 1.25 顧問 山田雄三再任
- 1.31 課題Ⅱ研究会(第5回) 報告内容と報告者「中国の社会保障について」日中社会学会幹事: 田辺義明
2. 4 第19回社会保障研究所シンポジウム開催, テーマ『社会保障研究の回顧と展望』レポート: 中央大学教授 丸尾直美(所得保障研究を中心に), 帝京大学教授 江見康一(医療保障研究を中心に), 日本社会事業大学教授 三浦文夫(社会福祉の政策研究を中心に), 大阪大学教授 藤田 晴(社会保障財政論の回顧と展望), 日本女子大学教授 佐藤 進(法的研究の側面を中心として), 司会: 上智大学教授 小山路男
2. 7 課題Ⅳ研究会(第4回) 報告内容と報告者「国民経済計算における社会保障」経済企画庁経済研究所国民支出課長 徳永芳郎, 同専門調査員: 私市光生
- 2.18 定例役員会(第208回) 開催
- 2.21 政策研究会(第5回) 報告内容と報告者「“ハンディキャップ者配慮住宅”の開発と福祉設備リース制度について」通商産業省住宅産業課課長補佐 八幡和郎
- 2.28 課題Ⅱ研究会(第6回) 報告内容と報告者「データ解析の方法について」防衛大学校助教授: 三重野 卓
3. 5 課題Ⅲ研究会(第9回) 報告内容と報告者「掛川両調査データの比較」日赤武蔵野女子短大講師: 高橋博子
- 3.19 定例役員会(第209回) 開催
- 3.20 課題Ⅱ研究会(第7回) 報告内容と報告者「中華民国(台湾)における社会保障制度」慶応義塾大学大学院: 彭火明, 「フローラほか編『欧米における福祉国家の発展』をめぐって(2)」研究員: 平岡公一・武川正吾
- 3.26 課題Ⅲ研究会(第10回) 会議の内容「今後の分析計画について(全体討議)」
- × × ×
- × ×